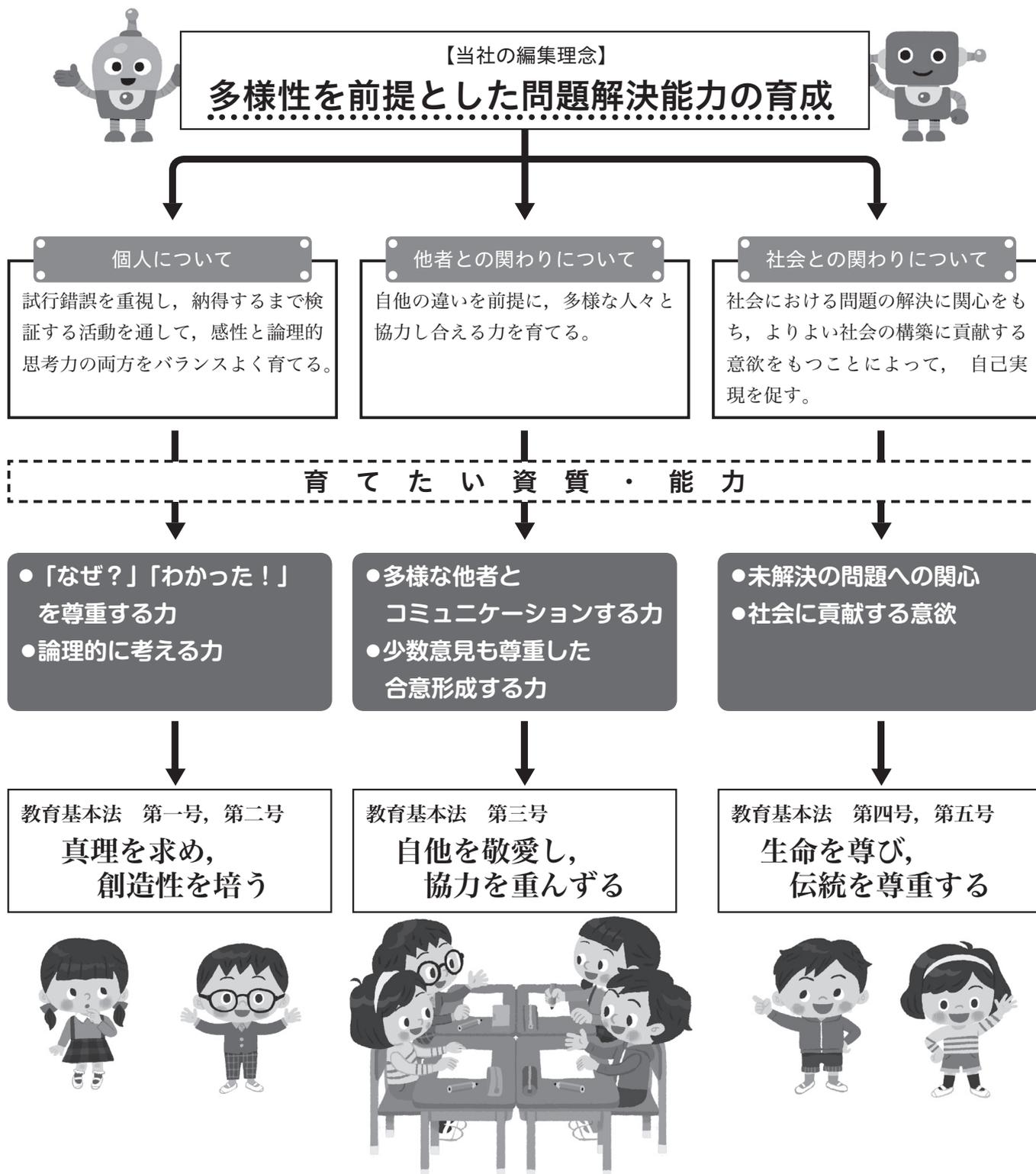


① 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-10	小学校	算数	算数	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 204・205	みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上・下		

編修の基本方針



教育基本法を大前提として、上記資質・能力が育成されるよう、次のように様々な工夫をこらして教科書を編集しました。

真理を求める態度を養う

1 わからない。だから学ぶ。

— 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

生活の中、算数の中から、問題を発見し、解決するために必要な幅広い知識と教養を身に付けるとともに、問題解決能力を養うことができるようにしました。また、解決できたと考えても一度立ち止まり、批判的に見直すことで、真理を求める態度を養うことができるようにしました。

▶▶▶ 上巻 P.18

▶▶▶ 上巻 P.71

▶▶▶ 下巻 P.80

○問題を見つける

日常や算数の授業の中で疑問が生まれる場面を、「?をはっけん」として、学習の動機づけにしました。

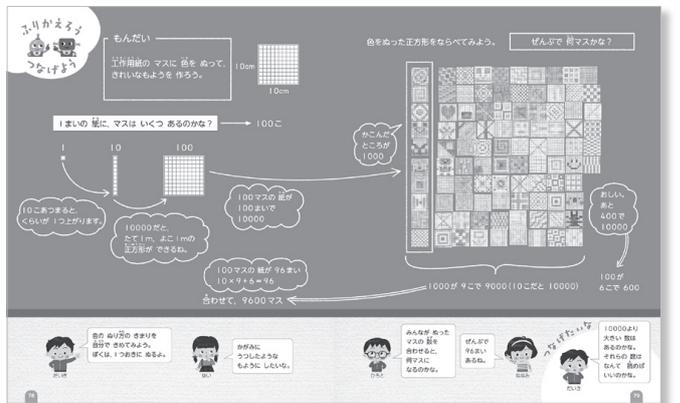
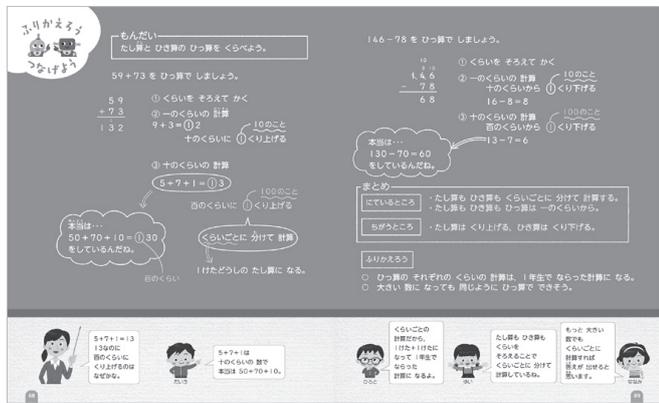


○ふりかえり、新しい問題を見つける

これまで学習してきたことをふりかえり、学習が身に付いているかどうかを確認すると同時に、次に繋がる問題を発見していくことができるようにしました。

▶▶▶ 上巻 P.88 ~ 89

▶▶▶ 下巻 P.78 ~ 79



創造性を培う

2 そこにある算数。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

身のまわりの生活の中に、算数が潜んでいることに気づくとともに、それらを算数を通じた視点で観察することで、自らの数学的な創造性を培うことができるようにしました。

○身のまわりにある算数に気づく

教室の中にあるものを使った算数の問題づくりを通して創造性を培い、身近なところに算数が潜んでいることに気づくことができるようにしました。

▶▶▶ 下巻 P.28

▶▶▶ 下巻 P.83



① ななみさんは上の絵を見て、かけ算の もんだい を 作りました。

自他の敬愛と協力を重んずる

3 伝える力、聞く力。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

友だちと協力することで、個人では見つけられなかった学びに気づき、自分の意見を伝えるとともに、他者の意見を取り入れ、よりよい解決に向かう力を育みます。

話し合い、伝え合う

自分の考えを伝えたり、友だちの考えと比べたりする活動を、随所に取り入れました。

上巻 P.92

話し合いのほしげん
① 長さのくらべ方を話し合います。

1年生のときは、何のいくつでくらべたよ。

テープのしさをそろえたらどうか。

それだとテープをうごかさなくてもくらべられる。

2年生のときは、1年生のときと同じようにくらべることが出来るかな。

それならテープをうごかさなくてもくらべられる。

下巻 P.42

話し合いのほしげん
5のだんの答えのーのくらは、0と5がこうたい出てきます。

5 10 15 20 25 30 35 40 45

話し合いのほしげん
ななめにむかい合っているところに同じ答えがあります。

2 3 0 3 5 4 0
3 0 3 4 2 4 8
3 5 2 4 9 5 4
4 0 4 8 5 6 6 4

話し合いのほしげん
4のだんではかけ算が1ふえる、答えは必ずふえます。

4 8 12 16 20 24 28 32 36
+4 +4 +4

話し合いのほしげん
2のだんと3のだんの答えをたすと5のだんの答えになります。

2 4 6 8 10
3 6 9 12 15
5 10 15 20 25

自分で、班で、クラスで

ひき算の筆算で、間違いやすい筆算の型をそれぞれの班やクラスで考察していくことで、友だちと協力しながら、気をつけなければならないポイントをまとめる「かつどう!!」を扱いました。

上巻 P.104 ~ P.105

かつどう!!
ひき算のひっ算をするときに気をつけるところは...

算数のじゆぎょうで、ひき算のひっ算のもんだいをときました。このとき、まちがったひっ算をあつめたところ、つぎの6つがありました。

①
$$\begin{array}{r} 138 \\ -76 \\ \hline 162 \end{array} \quad \begin{array}{r} 159 \\ -89 \\ \hline 170 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 322 \\ -14 \\ \hline 312 \end{array} \quad \begin{array}{r} 135 \\ -73 \\ \hline 142 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 141 \\ -69 \\ \hline 82 \end{array} \quad \begin{array}{r} 105 \\ -68 \\ \hline 47 \end{array}$$

④ ⑤ ⑥

話し合いのほしげん
①について、どのようなまちがえ方をしているか考えてみましょう。

話し合いのほしげん
②について考えるはんと、③について考えるはんに分かれて、まちがえ方についてはんで話し合ってみましょう。

話し合いのほしげん
④、⑤、⑥のどちらかのまちがえ方がわからなかったら、もう一つ考えてみましょう。

話し合いのほしげん
はんでそれぞれ見つけたひき算のひっ算のしかたのまちがいや、ひき算のひっ算をするときに気をつけなければいけないポイントをまとめよう。また、それをクラスのみんなでかくにんしよう。

話し合いのほしげん
たし算のひっ算についても、気をつけなければいけないポイントをまとめよう。

学んだことを再確認し、伝える

これまで算数で学んできたことを使って、話し合い、それを後輩に伝えていく活動を通して、身に付いた力を確認できるようにしました。

下巻 P.124 ~ 126

今の自分を知らう!

わたしたちの、学校、地いきのクイズを作ろう

話し合いのほしげん
① 数と計算チーム
② 何でも「はかる」チーム
③ 形チーム
④ グラフチーム

話し合いのほしげん
① クイズを作ったこと、
② がくしゅうしたことがやくに立ったこと、
③ すすんでクイズ作りをおこなったこと。

話し合いのほしげん
② 算数、きめる力、あらわす力
① 算数をつかったクイズを作ったこと。
② クイズをひけるかどやがたやめるとどうだったか。
③ クイズを文字や絵でおもしろくした。

話し合いのほしげん
③ 知っていることやできるようにしたこと
① よりよいクイズを作ったこと。
② 作ったクイズをよめたこと。

話し合いのほしげん
④ よくがんばった自分はすごいと思うこと
① よくがんばった自分はすごいと思う。
よくがんばった自分に、はめることばをプレゼントしてあげよう。

話し合いのほしげん
「うまくできたところ」をさらにがんばって、「うまくできなかったところ」をこんどはうまくできるように、もう1もんクイズを作ってみよう。

生命を尊び、自然を大切にすることを養う

4 自然，算数。

四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

算数を通して自然環境を見ることによって、自然を大切に、環境問題に数理的に関わっていくとする態度を育成します。

○自然や環境を算数で考察する

日本の動物園や水族館にいるペンギンの数についての題材を口絵で扱うことで、生命を尊ぶ態度を養うとともに、自然界と算数のつながりを意識することができるように配慮しました。



▶▶▶ 下巻表2～P.1

伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する

5 日本の算数。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

日本の自然、伝統文化等を学習の素材として取り入れ、興味・関心を喚起することによって、それらをこれからも大切にしていこうとする態度を養うことができます。

○郷土に根付く算数を学ぶ

自分たちの町にある時計やいろいろな形に見える建造物を口絵として扱うことで、郷土を愛する気持ちを育むことができるように配慮しました。



▶▶▶ 上巻表2～P.1

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全章	<ul style="list-style-type: none"> 教材の選択にあたっては、児童の生活に根ざし、豊かな情操と道徳心が養われるように配慮しました。(第一号) 男女平等の精神にのっとり、教科書に掲載する男女児童の名前はすべて「さん」付けとしました。(第三号) 4人の成長するキャラクターを設定し、協力して課題を解決していく様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度の育成に配慮しました。(第三号) 	全般
口絵	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの町にある時計や、三角形と四角形の形に見えるものを扱うことによって、郷土を愛する心を養うように配慮しました。(第五号) 	上表2～1ページ
①ひょうとグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯の生えかわりを扱うことによって、自分の身体に興味をもち、健やかな身体を養うことができるように配慮しました。(第一号) 	上14～16ページ
②時ごとと時間(1)	<ul style="list-style-type: none"> 町探検や、自分の1日の生活を振り返るような展開とし、生活していく上で自ら計画を立てる自主及び自立の精神の育成に配慮しました。(第二号) 	上19～23ページ
③2けたのたし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> 他者の考えについて考察し、認める場面を設けることによって、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うように配慮しました。(第三号) 	上31ページ

④たし算のひっ算	・筆算の誤りを正す課題を設定することにより、真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一号)	上 41 ページ
⑤ひき算のひっ算	・下級生の世話をすることを題材にすることで、責任と自他の敬愛を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるように配慮しました。(第三号)	上 46～47 ページ
⑥1000 までの数	・たくさんのひよこを数える活動を通して、生き物と接することを意識しながら、生命を尊ぶ態度が育まれるように配慮しました。(第四号)	上 57～60 ページ
⑦大きい数のたし算とひき算	・町内の掃除をするという場面設定を扱うことで、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	上 71～72 ページ 上 78 ページ
⑧長さ (1)	・班での話し合い活動の例示をすることによって、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第三号)	上 92 ページ
⑨水のかさ	・運動会での水分補給に留意することに着目させ、健やかな身体を養うことができるように配慮しました。(第一号)	上 106 ページ
⑩三角形と四角形	・導入の素材でサファリパークの動物を扱い、生命と自然に興味関心をもたせ、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	上 118～ 119 ページ
⑪かけ算 (1)	・全編を通して、かけ算を学習する際に身のまわりの題材を用いることによって、生活との関連を重視することができるように配慮しました。(第二号)	下 4～28 ページ
⑫かけ算 (2)	・九九を天降り的に教え込むのではなく、児童自らが新しい九九を発見していくよう、探求的な構成にすることによって、真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一号)	下 31 ページ
⑬かけ算 (3)	・九九をいかして、九九をこえるかけ算を考察していく場面において、他者の考えを聞いたり、その考えを説明する場面を設け、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第三号)	下 42～46 ページ
⑭分数	・日本の伝統的な玩具である折り紙を扱うことによって、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるように配慮しました。(第五号)	下 51 ページ
⑮時こくと時間 (2)	・日常の中にある行動を時間の概念形成の一端として扱うことによって、生活していく上で自ら計画を立てる自主及び自立の精神の育成に配慮しました。(第二号)	下 61～62 ページ
⑯10000 までの数	・ペットボトルのふたを集める活動を通して、主体的な社会の形成への参画のきっかけにすることができるように配慮しました。(第三号)	下 66 ページ
⑰長さ (2)	・身のまわりにあるものの長さを予想し、実際に測る活動を通して、身のまわりのことに関心を持ち、学習と生活との関連を重視する態度を養うことができるように配慮しました。(第二号)	下 83 ページ
⑱たし算とひき算	・年長者に座席を譲る場面を示すことによって、自他の敬愛と公共の精神に基づく態度を養うことができるように配慮しました。(第三号)	下 90 ページ
⑲しりょうの活用	・体育の授業でやりたいことを考える活動を通して、健やかな身体を養うことができるように配慮しました。(第一号)	下 106～ 108 ページ
⑳はこの形	・箱を作る際に展開図を作るだけでなく、その面にくふうして模様をかく活動を通して、創造性を培うことができるように配慮をしました。(第二号)	下 112 ページ

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 学校教育法第二十一条二、四の目標を達成するために単元末の「深めよう」では、児童の視野を、学年を追うごとに学校、地域社会、日本、世界へと広げていけるように配慮し、日本の文化、外国の文化を理解しようとする態度を養うことができるようにしました。また、その題材は、生活に深く関る文化や環境といった内容を取り上げ、それらの基礎的な理解を養うことができるようにしました。
2. 学校教育法第二十一条九の目標を達成するために、低学年の計算場面では、式を書く前に必ずその場面の絵をかかせ、子どものイメージを豊かにする配慮をしました。

① 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-10	小学校	算数	算数	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 204・205	みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上・下		

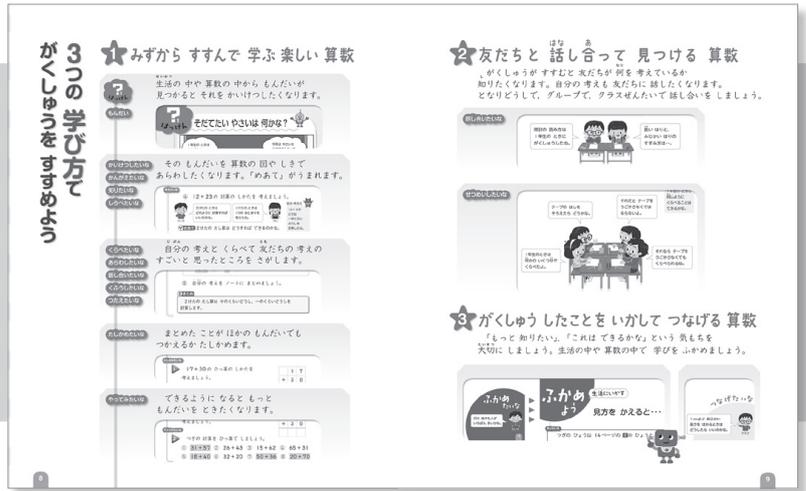
1 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的に学びたくなる

→ ~したいな

子どもの学び方を「~したいな」と表現して, 子どもの思考力・判断力・表現力を促しながら学習が進められるようにしました。

上巻 P.8 ~ 9



2 算数の見方・考え方が身に付く

→ 算数で見つきたい考え方

「見方・考え方」を明確にして, それぞれをモンスターとして登場させました。子どもたちは, それぞれのモンスターをゲットするように「見方・考え方」が自然に身に付いていくようにしました。

見方・考え方

クッキーをおはじきやブロックにおきかえて考えてみよう。

見方・考え方

1年生で $8+7$ の計算はがくしゅうしたね。

見方・考え方

10ずつにまとめているね。

見方・考え方

くらいをそろえて書こう。

算数で見つきたい考え方

- ピトツ**: 1つ分を作る。1つ分をきめると、そのいくつ分であらわすことができるよ。
- ワケル**: 分けてみると... 数をくらいに分けたり、かたち分けたりすると、もんだいを考えやすくなるよ。
- ベツアラフン**: べつべつにあらわしにすると、おはじきやブロックなどべつべつのおきかえて考えてみると、わかりやすくなるよ。
- オナジン**: 同じようにできないかな。これまでにやったことと同じように考えればわかることがあるよ。
- ナービ**: どうしてそうなるのかな。どうしてそうなるか、わけをじゅんばんにお話しできると、わかってもらいやすくなるよ。
- そろえてみる...**: 数のくらいをそろえたり、ものほしをそろえたりすると、くらべるができるよ。
- マドメール**: まとめてみると、数を10でまとめたり、ひよかにまとめたりすると、わかりやすくなるよ。
- カエカエ**: 数や形などをかえてみると... もんだいを少しかえてみると、そのもんだいがわかるようになったり、新しいもんだいを見つけたることができるよ。
- キマリ**: きまりはあるのかな。いくつかにわけてみると、きまりがあるかどうかを見つけることができるよ。

上巻 P.7

3

主体的、対話的で深い学びの実現

主体的な学びの実現に向けては、**1**ですすでに取り上げたように、様々な問題に対して、「～したいな」という表現を用いて学習が進められるようにしてあります。ここでは、対話的で深い学びについて取り上げます。

→ かつどう!!

アクティブ（活動）のページを設定することで、自分で考え、班で考え、クラス全体で考える等の段階を意識した活動を通して、主体的（自分で）、対話的（班で）、深い学び（クラス全体で）が実現できるように配慮しました。

かつどう期

ひき算のひっ算をするときに気をつけるところは…

①

$$\begin{array}{r} 138 \\ - 76 \\ \hline 162 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 322 \\ - 14 \\ \hline 312 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 141 \\ - 69 \\ \hline 82 \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 159 \\ - 89 \\ \hline 170 \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 135 \\ - 73 \\ \hline 142 \end{array}$$

⑥

$$\begin{array}{r} 105 \\ - 88 \\ \hline 47 \end{array}$$

かつどう期

どうすれば かんたんに 数えることができるかな。

①

②

③

④

⑤

⑥

かつどう期

①

②

③

④

⑤

⑥

上巻 P.104 ~ 105

ひき算の筆算で気をつけることをクラス全体で考察する活動や、工夫して九九を活用する活動を取り入れました。

下巻 P.58 ~ 59

→ 話し合いたいな / せつめいしたいな

「話し合いたいな」、「せつめいしたいな」という子どもの思いによって、様々な話し合い活動が行われるように配慮しました。

→ ふかめたいな / つなげたいな

「ふかめたいな」で学習を統一的・発展的な学習に高められるようにし、「つなげたいな」で子どもの疑問によりそった学習が進められるように配慮しました。

ふかめたいな

もっと九九のひみつを知りたいな。

下巻 P.48

ふかめたいな

九九でもよう作り

3のだんと同じように、九九の答えの、一のの数字を 連続して 書き込んでみるよ。

①のだん ②のだん ③のだん

④のだん ⑤のだん ⑥のだん

⑦のだん ⑧のだん ⑨のだん

下巻 P.49

つなげたいな

1cmより みじかい長さを はかるときは どうしたら いいのかな。

上巻 P.95

つなげたいな

2 つぎのぼうの長さはどのようにあわせればよいですか。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

目もりと目もりの間は、どうやって読めばいいかな。

もっと小さい目もりがあるといのね。

上巻 P.96

➡ 今の自分を知らう！

パフォーマンス評価の考えを取り入れ、学年末に「今の自分を知らう」ページと自己評価表を掲載しました。繰り返し評価できるようにして、学年が進むにつれて自分の成長が実感できるように配慮しました。

The collage shows various student activities. On the left, a worksheet titled 'わたしたちの、学校、地いきのクイズを作ろう' (Let's make a quiz about our school and neighborhood) includes sections for '1. 数と計算チーム' (Number and Calculation Team) and '2. 何でも「はかる」チーム' (Anything 'Measure' Team). In the center, a '3. 形チーム' (Shape Team) activity involves identifying shapes in a classroom. On the right, a large self-evaluation form titled '今の自分を知らう！' (Let's know our current self!) contains four sections: '1. 学びにむかう力' (Ability to approach learning), '2. 考える力、きめる力、あらわす力' (Ability to think, decide, and express), '3. 知っていることやできるようになったこと' (Things I know or have become able to do), and '4. よくがんばった自分はすごいと思うこと' (Things I think I did well at). The form includes checkboxes for 'よくがんばった' (Did well) and 'すごいと思う' (Think it's amazing).

下巻 P.124 ~ 125

これまで学んだことを使って、それぞれの領域ごとにクイズを作る活動を取り入れました。

自己評価では、自己肯定感もてる配慮をしています。

下巻 P.126

➡ ふりかえろう つなげよう

領域ごとの学習の積み重ねを意識した「ふりかえろう つなげよう」のページを設定して、板書を使って学年を超えた振り返りと中学校との関連を明確にしました。

今まで学習した数をふりかえりながら、もっと大きい数への期待感をもたせます。

The board activity is titled 'ふりかえろう つなげよう' (Let's look back and connect). It features a large grid of numbers and a large square made of smaller squares. The text on the board asks '1000のマスに、マスはいくつあるかな?' (How many squares are there in a 1000-square grid?). It shows a 10x10 grid with 100 squares, a 100x100 grid with 10,000 squares, and a 1000x1000 grid with 1,000,000 squares. The board also includes a large square made of smaller squares, with a caption '色をぬいた正方形をならべてみよう。' (Let's arrange the colored squares). The board is divided into sections for '1000のマス' (1000 squares), '10000のマス' (10,000 squares), and '100000のマス' (100,000 squares). It also includes a section for '1000000のマス' (1,000,000 squares) and a section for '10000000のマス' (10,000,000 squares). The board is decorated with various patterns and colors.

下巻 P.78 ~ 79

➡ できるようになったこと / まなびをいかそう

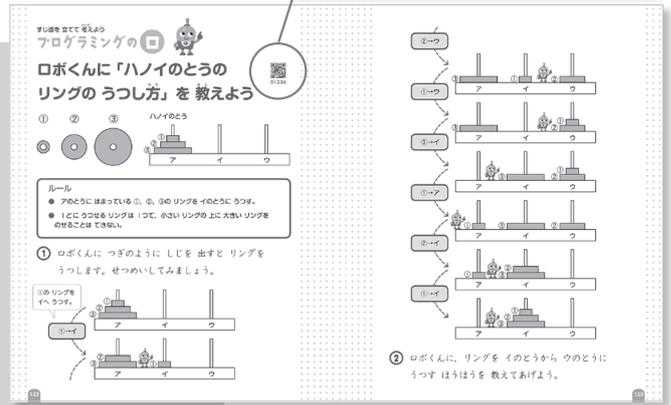
単元末問題を「できるようになったこと」と「まなびをいかそう」の2つとすることで、この単元で身に付けさせたい知識・技能を明確にしなが、その知識・技能をいかして考察する問題に挑戦できるようにしました。

The worksheets are titled 'できるようになったこと' (What I can do now) and 'まなびをいかそう' (Using what I learned). The first worksheet, 'できるようになったこと', includes problems such as: '480について、□にあてはまる数を書きましょう。' (Write the number that fits in the box for 480), '718 + 781 = □, 555 + 559 = □, 310 + 301 = □, 615 + 610 = □', and '40 + 90 = □, 70 + 70 = □, 130 - 60 = □, 150 - 80 = □'. The second worksheet, 'まなびをいかそう', includes problems such as: 'つぎの□にあてはまる数を書きましょう。' (Write the number that fits in the box for the next problem), '500 + 10 + 9を合わせた数は□です。' (The number obtained by adding 500, 10, and 9 is □), '100を2と1を5回合わせた数は□です。' (The number obtained by adding 100 twice and 1 five times is □), '964は、100を□と10を□と1を□回合わせた数です。' (964 is a number obtained by adding 100 □ times, 10 □ times, and 1 □ times), '740について、つぎのようにあらわしました。□にあてはまる数を書きましょう。' (For 740, I wrote it like this. Write the number that fits in the box), '740は、□より740は、□と740は、10を60小さい数です。40を合わせた□にあつた数です。' (740 is □ more than □, 740 is □ and 740 is 10 smaller than □, 40 smaller than □, and the number obtained by adding □ is □), '自然のつくしんの一のくいがまだあきません。しかし、つくしんは「あつたのかた」になりました。どしてですか。' (The natural number 1 is still not found. However, the number 1 has become 'found' in nature. How is that?), 'つぎのしんがんに答えましょう。' (Answer the next question), '3000の数を表す数を書きましょう。' (Write the number that represents 3000), '100の数を表す数を書きましょう。' (Write the number that represents 100), '1000の数を表す数を書きましょう。' (Write the number that represents 1000), '10000の数を表す数を書きましょう。' (Write the number that represents 10,000).

上巻 P.69 ~ 70

→ プログラミング的思考

プログラミング的思考を育成するために1年「すじみちをたててかんがえよう プログラミングのプ」～6年「筋道を立てて考えよう プログラミングのグ」まで掲載しました。これらはQRコードによって実際に操作することができるようにしています。

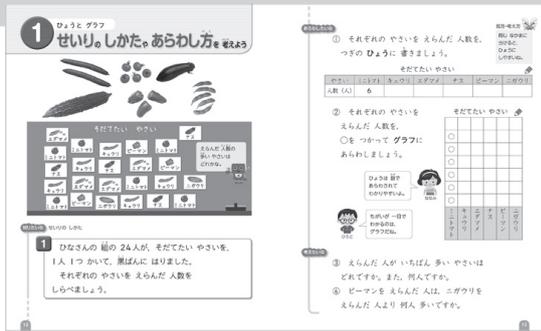


下巻 P.122～123

簡単な命令を組み合わせることで、ロボくんを意図通りに動かすことができます。

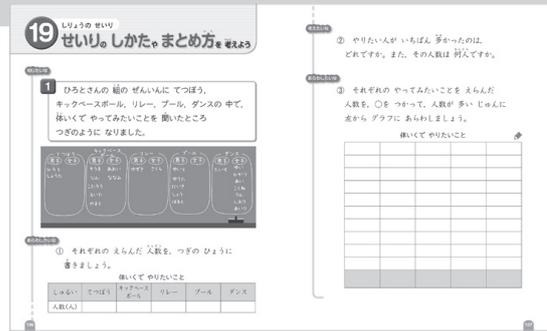
→ 「データの活用」の充実

各学年で統計の基礎・基本（表・グラフの作成等）とその活用について、単元を分けて掲載しました。また6年では統計での問題解決方法であるPPDACサイクルについて具体例を示して、体験できるように配慮しました。



上巻 P.12～13

生活科との関連として、育てたい野菜を整理する課題を取り扱っています。



下巻 P.106～107

男女に層別したくなるような課題設定をすることで、資料の再整理に対する意欲がもてます。

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
①ひょうとグラフ	A(1) ア(オ)	上 12～13 ページ	4
	D(1) ア(ア)	上 12～16 ページ	
	D(1) イ(ア)	上 16 ページ	
②時こくと時間 (1)	C(2) ア(ア)	上 19～24 ページ	4
	C(2) イ(ア)	上 19～24 ページ	
③ 2けたのたし算とひき算	A(2) ア(ア)	上 28～34 ページ	2
	A(2) イ(ア)	上 28～34 ページ	
④たし算のひっ算	A(2) ア(ア)	上 35～41 ページ	9
	A(2) ア(ウ)	上 42～43 ページ	
	A(2) イ(ア)	上 35～43 ページ	
	内容の取扱い (2)	上 43 ページ	
	内容の取扱い (3)	上 42～43 ページ	

⑤ひき算のひっ算	A(2) ア(ア)	上 47～52 ページ	9
	A(2) ア(イ)	上 53 ページ	
	A(2) イ(ア)	上 47～53 ページ	
⑥ 1000 までの数	A(1) ア(ア)	上 58～60 ページ	10
	A(1) ア(イ)	上 61～67 ページ	
	A(1) ア(ウ)	上 66 ページ	
	A(1) イ(ア)	上 58～67 ページ	
	A(2) ア(ア)	上 68 ページ	
⑦大きい数のたし算とひき算	A(2) ア(ア)	上 72～82 ページ	14
	A(2) ア(イ)	上 76～77 ページ, 83～84 ページ	
	A(2) イ(ア)	上 72～84 ページ	
⑧長さ (1)	C(1) ア(ア)	上 93～101 ページ	8
	C(1) ア(イ)	上 96～99 ページ	
	C(1) イ(ア)	上 96～101 ページ	
1 学期末			1
⑨水のかさ	C(1) ア(ア)	上 107～113 ページ	12
	C(1) ア(イ)	上 108～113 ページ	
	C(1) イ(ア)	上 108～113 ページ	
⑩三角形と四角形	B(1) ア(ア)	上 118～123 ページ	13
	B(1) ア(イ)	上 124～130 ページ	
	B(1) イ(ア)	上 124～130 ページ	
	内容の取扱い (5)	上 126～130 ページ	
⑪かけ算 (1)	A(1) ア(イ)	下 11 ページ	18
	A(3) ア(ア)	下 7～14 ページ	
	A(3) ア(イ)	下 8～14 ページ	
	A(3) ア(ウ)	下 22, 24 ページ	
	A(3) ア(エ)	下 15～23 ページ, 25 ページ	
	A(3) イ(イ)	下 28 ページ	
	[数学的活動](1) ア	下 9～10 ページ	
⑫かけ算 (2)	A(3) ア(イ)	下 29～37 ページ	12
	A(3) イ(ア)	下 29～35 ページ	
	A(3) イ(イ)	下 38 ページ	
	内容の取扱い (4)	下 29 ページ	
⑬かけ算 (3)	A(3) ア(ウ)	下 41～44 ページ	8
	A(3) ア(オ)	下 45～46 ページ	
	A(3) イ(ア)	下 41～46 ページ	
	内容の取扱い (4)	下 41～43 ページ	
⑭分数	A(1) ア(カ)	下 51～56 ページ	6
2 学期末			1
⑮時こくと時間 (2)	C(2) イ(ア)	下 61～62 ページ	4
⑯ 10000 までの数	A(1) ア(ア)	下 66～68 ページ	8
	A(1) ア(イ)	下 69～75 ページ	
	A(1) ア(ウ)	下 71 ページ	
	A(1) ア(オ)	下 77 ページ	
	A(1) イ(ア)	下 67～75 ページ	
	内容の取扱い (1)	下 72～73 ページ	
17 長さ (2)	C(1) ア(ア)	下 81～82 ページ	7
	C(1) ア(イ)	下 83 ページ	
	C(1) イ(ア)	下 81～83 ページ	
18 たし算とひき算	A(2) ア(イ)	下 91～103 ページ	14
	内容の取扱い (2)	下 92～103 ページ	
	[数学的活動](1) エ	下 99～103 ページ	
19 しりょうのせいり	D(1) ア(ア)	下 106～107 ページ	2
	D(1) イ(ア)	下 108 ページ	
	[数学的活動](1) イ	下 106～108 ページ	
20 はこの形	B(1) ア(ウ)	下 110～114 ページ	4
	B(1) イ(ア)	下 110～114 ページ	
	[数学的活動](1) ウ	下 110～112 ページ	
21 2年のまとめ	学期末		4
3 学期末			1

① 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-10	小学校	算数	算数	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 204・205	みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上・下		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や取扱いに示す事項	ページ数
下 P.108	複合したグラフ	1	D (1) ア (ア) 身の回りにおける数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすること。	1
合計				1

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容